

バックアップキャビネット PRIMERGY SX10 S2 [PG-R2BC1]

(1) 概要

本製品は、テープドライブ装置などの 5 インチベイ装置を最大 4 台まで搭載可能です。
また、内蔵ケーブルを増設する事により、最大4チャンネルの同時使用が可能となります。

(2) 特長

- ① SCSI I/O モジュールにより、4 チャンネルの SE/LVD SCSI インターフェースをサポート。
- ② SAS I/O モジュールにより、4 個の mini-SAS(SFF8088)ポートをサポート。
- ③ USB I/O モジュールにより、4 チャンネルの USB インターフェースをサポート。
- ④ 5 インチベイ装置を最大 4 台まで搭載可能で、最大4サーバと本キャビネットを共有できます。
但し、デバイスの共有はできません。
- ⑤ 本キャビネットは電源制御モードを 2 つ持ち、装置前面の設定スイッチによって変更可能です。
- ⑥ 搭載デバイスをフロントアクセスのみにより交換ができます。

(3) 仕様

① 装置仕様

項目	仕様		
品名	PRIMERGY SX10 S2 (バックアップキャビネット)		
型名	PG-R2BC1		
5 インチベイ	4		
電源ユニット	1 台搭載 (増設不可、冗長不可)		
ファンユニット	1 台搭載 (増設不可、冗長不可)		
電源制御モード	連動モード / AC 給電モード ^{*1}		
インターフェース	I/O モジュール (SCSI)搭載時	I/O モジュール (SAS)搭載時	I/O モジュール (USB)搭載時
	SE / LVD SCSI 最大 320MB/s (搭載デバイスに依存する)	Mini-SAS (SFF8088) 最大 600MB/s	USB 2.0 (B ソケット) 最大 480Mbit/s
外形寸法 (WxDxH)	483mm×754mm×131.4mm [突起部含む] 431mm×705mm×131.4mm		
占有ユニット数	3U		
質量	23.5kg(最大搭載時)		
入力電圧 / 周波数	AC100V 50 / 60Hz		
コンセント	二極接地型(標準 1 個)		
消費電力	最大 250W		
騒音値	43dB 以下		
添付品	AC ケーブル(3m)、取扱説明書、ラック取付金具		
サポート拡張カード	I/O モジュール (SCSI)搭載時	I/O モジュール (SAS)搭載時	I/O モジュール (USB)搭載時
	PG-1281,PG-1301L, PG-2281/2281L, PY-SJ101/SJ101L	PG-228B/228BL PY-SC1Y0 /SC1Y0L	不要 (サーバ内蔵ポート)
適用機種	各サーバ本体のシステム構成図・ハードウェア一覧参照		

*1 【電源制御モード】

・連動モード

本体の電源 ON / OFF に連動して、本装置搭載のドライブ装置の電源を自動で ON / OFF させるモード。各ドライブ装置の電源は別々に ON/OFF します。

・AC 給電モード

本体の電源 ON / OFF に連動せず、本装置搭載のドライブ装置をマニュアルで ON / OFF させるモード。全ての搭載ドライブ装置が ON/OFF されます。

②オプション

本キャビネットに使用できるオプションを下表に示します。

I/O モジュール

品名	型名	インターフェース	備考
I/O モジュール(SCSI)	PGB IMS01	SCSI	LVD 4ch
I/O モジュール(SAS)	PGB IMA01	SAS	mini-SAS(SFF8088) 4 ポート
I/O モジュール(SAS)*	PGB IMA02	SAS	mini-SAS(SFF8088) 4 ポート (LTO2: PG-LT203/PGBLT203 対応)
I/O モジュール(USB)	PGB IMU01	USB	B ソケット 4 ポート

*LTO2: PG-LT203/PGBLT203 を搭載する場合、本 I/O モジュールを手配ください。

内蔵ケーブル

品名	型名	ケーブル長	備考
内蔵 SCSI ケーブル	PG-CBLS032 PGBCBLS032	1.3m	SX10 S2 増設用内蔵 SCSI ケーブル バックアップ装置(SCSI)を 1 台接続 最大で 4 本増設可能
内蔵 SCSI ケーブル	PG-CBLS033 PGBCBLS033	1.3m	SX10 S2 増設用内蔵 SCSI ケーブル バックアップ装置(SCSI)を 2 台接続 最大で 2 本増設可能
内蔵 SAS ケーブル	PG-CBLA007 PGBCBLA007	1.3m	SX10 S2 増設用内蔵 SAS ケーブル バックアップ装置(SAS)を 1 台接続 最大で 4 本増設可能 【LTO4: PG-LT401/PGBLT401 用】
内蔵 SAS ケーブル	PG-CBLA012 PGBCBLA012	1.3m	SX10 S2 増設用内蔵 SAS ケーブル バックアップ装置(SAS)を 1 台接続 最大で 4 本増設可能 【LTO2: PG-LT203/PGBLT203 用、 LTO3: PG-LT303/PGBLT303 用、 LTO4: PG-LT402/PGBLT402 用、 LTO4: PG-LT403/PGBLT403 用、 LTO5: PG-LT501/PGBLT501 用】
内蔵 USB ケーブル	PG-CBLU006 PGBCBLU006	1.3m	SX10 S2 増設用内蔵 USB ケーブル バックアップ装置(USB)を 1 台接続 最大で 4 本増設可能

搭載ドライブ装置【SCSI】

品名	型名	インターフェース	使用ベイ数	備考
内蔵 LTO ユニット	PG-LT102 PGBLT102	SCSI	1	Ultra160 Wide SCSI
内蔵 LTO2 ユニット	PG-LT201 PGBLT201	SCSI	1	Ultra160 Wide SCSI
内蔵 LTO3 ユニット *1	PG-LT302 PGBLT302	SCSI	1	Ultra160 Wide SCSI
内蔵 DAT72 ユニット	PG-DT501 PGBDT501	SCSI	1	Ultra Wide SCSI

*1 内蔵 LTO3 ユニットは、デジチェーン[PG-CBLS033/PGBCBLS033]接続不可。

搭載ドライブ装置【SAS】

品名	型名	インターフェース	使用ベイ数	備考
内蔵 LTO2ユニット	PG-LT203 PGBLT203	SAS	1	SAS
内蔵 LTO3ユニット	PG-LT303 PGBLT303	SAS	1	SAS
内蔵 LTO4ユニット	PG-LT401 PGBLT401	SAS	1	SAS
内蔵 LTO4ユニット	PG-LT402 PGBLT402	SAS	1	SAS
内蔵 LTO4ユニット	PG-LT403 PGBLT403	SAS	1	SAS
内蔵 LTO5ユニット	PG-LT501 PGBLT501	SAS	1	SAS

搭載ドライブ装置【USB】

品名	型名	インターフェース	使用ベイ数	備考
内蔵データカートリッジ ドライブユニット	PG-RD1021 PGBRD1021	USB	1	USB
内蔵データカートリッジ ドライブユニット	PG-RD1027 PGBRD1027	USB	1	USB
内蔵 DAT72 ユニット	PG-DT504 PGBDT504	USB	1	USB
内蔵 DAT72 ユニット	PG-DT5049 PGBDT5049	USB	1	USB
内蔵 DAT160ユニット	PG-DT602 PGBDT602	USB	1	USB
内蔵データカートリッジ ドライブユニット	PGBRD1027B	USB	1	USB (BE Lite 付き)

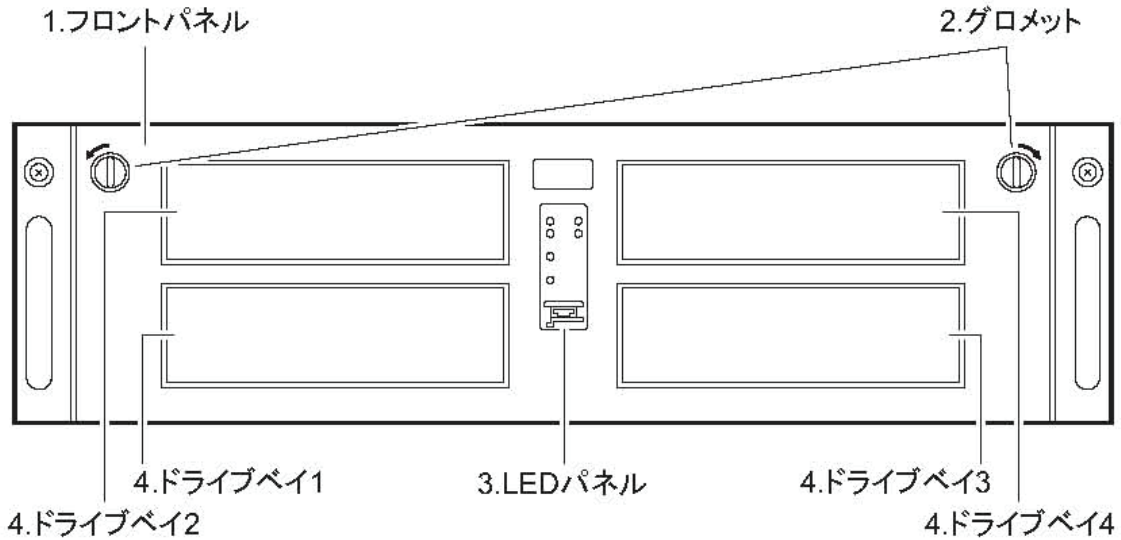
本キャビネットとサーバ本体を接続するケーブルを下表に示す。

品名	型名	ケーブル長	備考
SCSI ケーブル	PG-CBLS034	2.0m	増設 SCSI カード接続用 PG*1301L / PG*2281 / PG*2281L / PY*SJ101 / PY*SJ101L 用
SCSI ケーブル	PG-CBLS035	5.0m	増設 SCSI カード接続用 ^{*2} PG*1301L / PG*2281 / PG*2281L / PY*SJ101 / PY*SJ101L 用
SCSI ケーブル	PG-CBLS036	1.8m	PG*1281 用
SCSI ケーブル	PG-CBLS037	5.0m	PG*1281 用
SAS ケーブル	PG-CBLA008	2.0m	PG*228B / PG*228BL / PY*SC1Y0 / PY*SC1Y0L 用
SAS ケーブル	PG-CBLA009	4.0m	PG*228B / PG*228BL / PY*SC1Y0 / PY*SC1Y0L 用
USB ケーブル	PG-CBLU007	2.0m	
USB ケーブル	PG-CBLU008	5.0m	

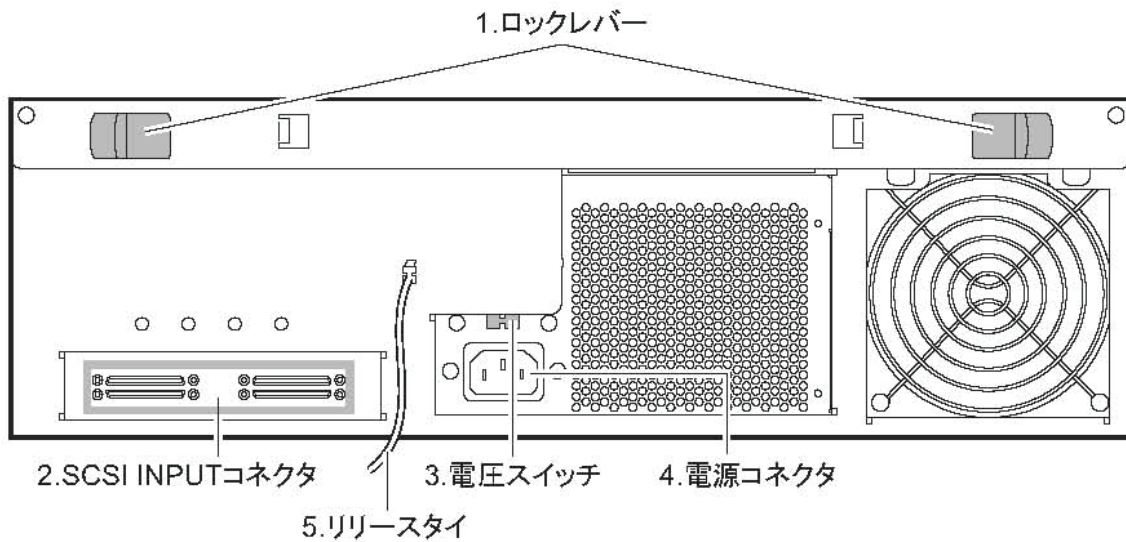
(4) 本体構成

本キャビネットは、デバイス搭載用スロット、電源ユニット、FAN を搭載。

[前面]



[背面]



(5) 接続形態(SCSI)

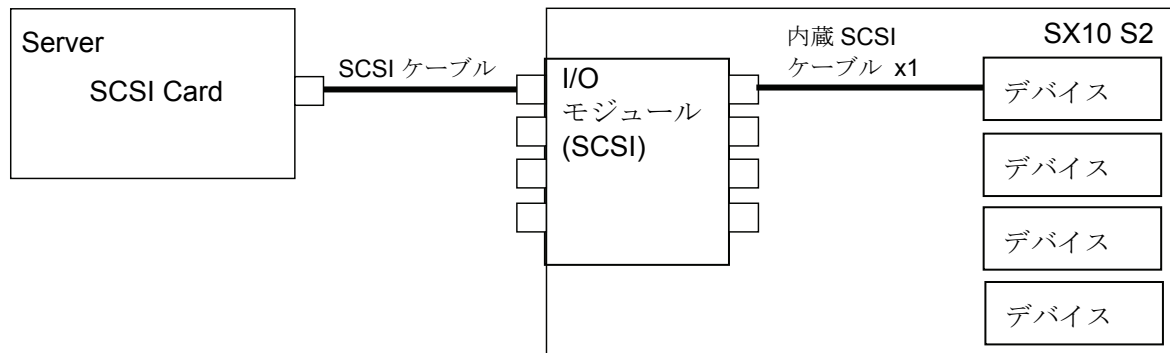
I/Oモジュール(SCSI)と内蔵ケーブルの増設

SX10 S2 専用 I/O モジュール(SCSI)と内蔵 SCSI ケーブル[PG-CBLS032 / PGBCBLS032/ PG-CBLS033 / PGBCBLS033]を増設する事により、本キャビネット 1 台で最大4台のサーバとの SCSI インターフェースによるアクセスが可能です。

注)併せて、サーバ接続用 SCSI ケーブル[PG-CBLS034/PG-CBLS035/PG-CBLS036/PG-CBLS037]が必要です。

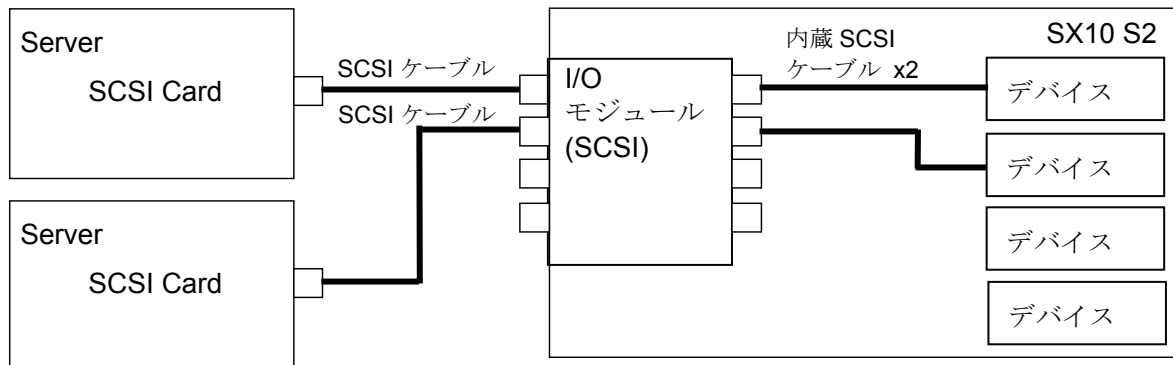
標準仕様(1チャンネルのみ使用)

例)

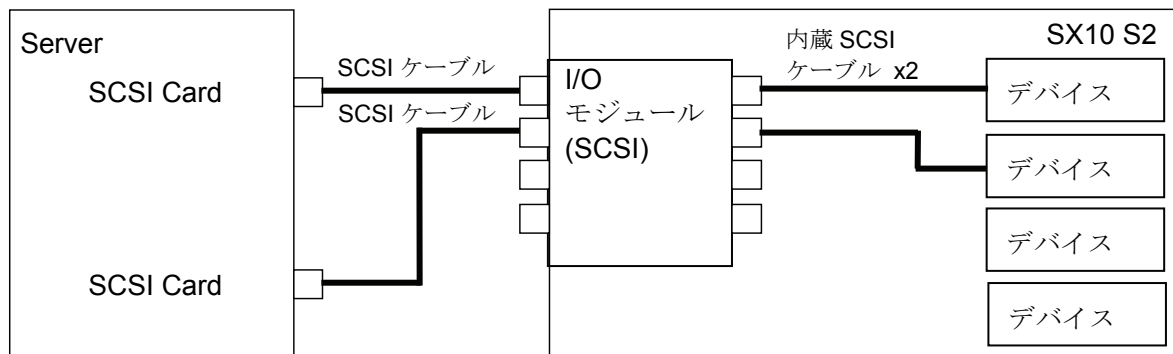


内蔵SCSIケーブルを2本増設(2チャンネル使用)

例)

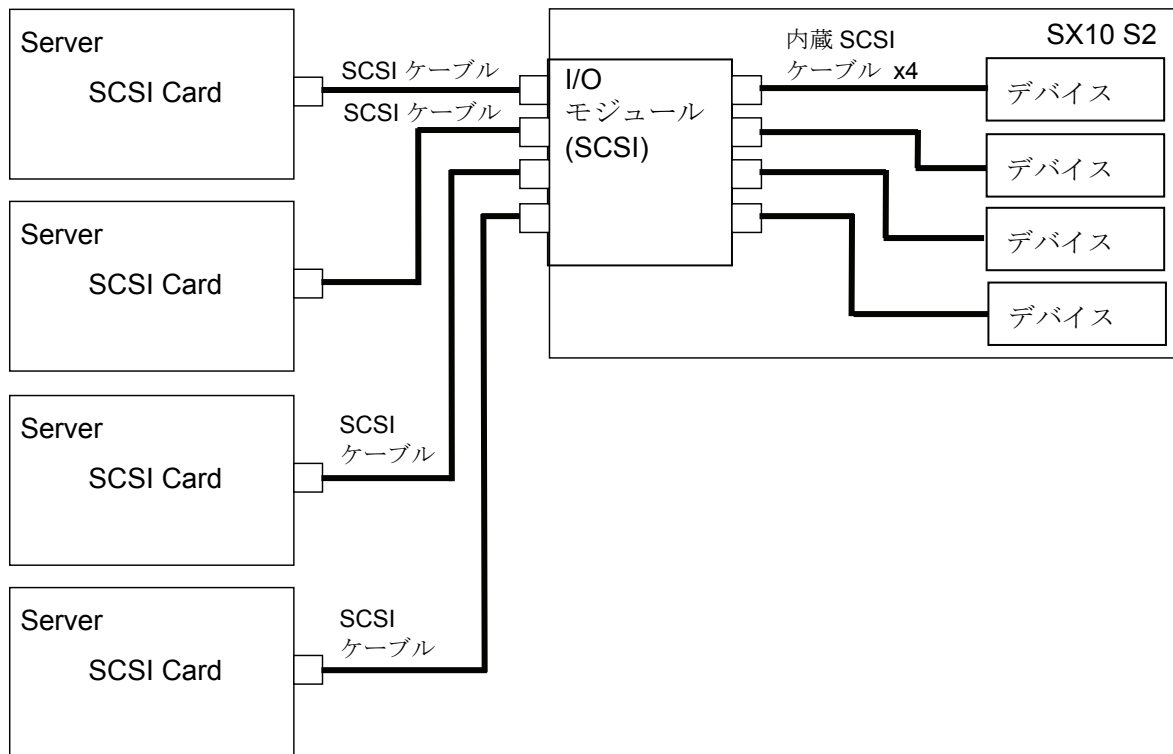


※下図のように、サーバ本体に SCSI カードを増設する事で、1サーバに対して複数チャンネル使用する事も可能。



内蔵SCSIケーブルを4本増設(4チャンネル使用)

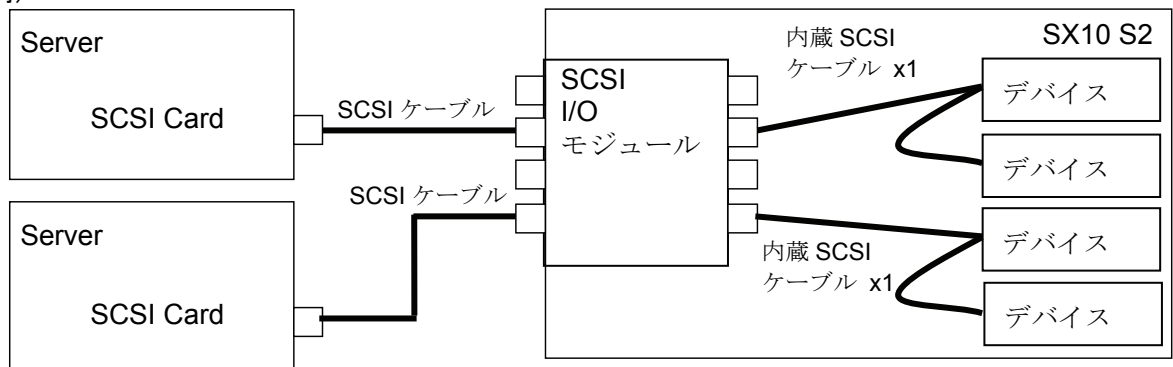
例)



内蔵SCSIケーブル[PG-CBLS033 / PGBCBLS033]によるデジチェーン接続

1チャンネルに最大2台のドライブ接続が可能。

例)



※内蔵 LTO3ユニット[PG-LT302 / PGBLT302]は、デジチェーン接続不可。

(6) 接続形態(SAS)

I/Oモジュール(SAS)と内蔵ケーブルの増設

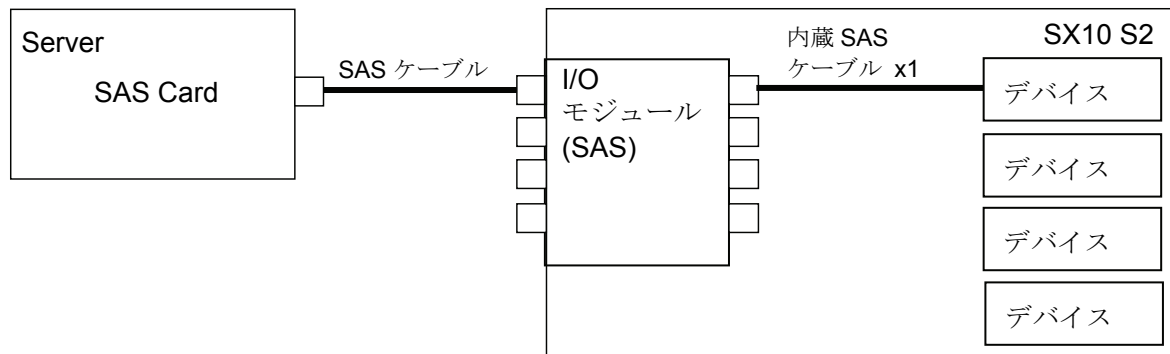
SX10 S2 専用 I/O モジュール(SAS)と内蔵 SAS ケーブル[PG-CBLA007 / PGBCBLA007 (LTO4 接続用)、PG-CBLA012 / PGBCBLA012 (LTO2 または LTO3 接続用)]を増設する事により、本キャビネット 1 台で最大4 台のサーバとの SAS インターフェースによるアクセスが可能です。

注)併せて、サーバ接続用 SAS ケーブル[PG-CBLA008/PG-CBLA009]が必要です。

注)LTO2:PG-LT203/PGBLT203 を搭載する場合、I/O モジュール[PG-IMA02 または PGBIMA02]を手配ください。

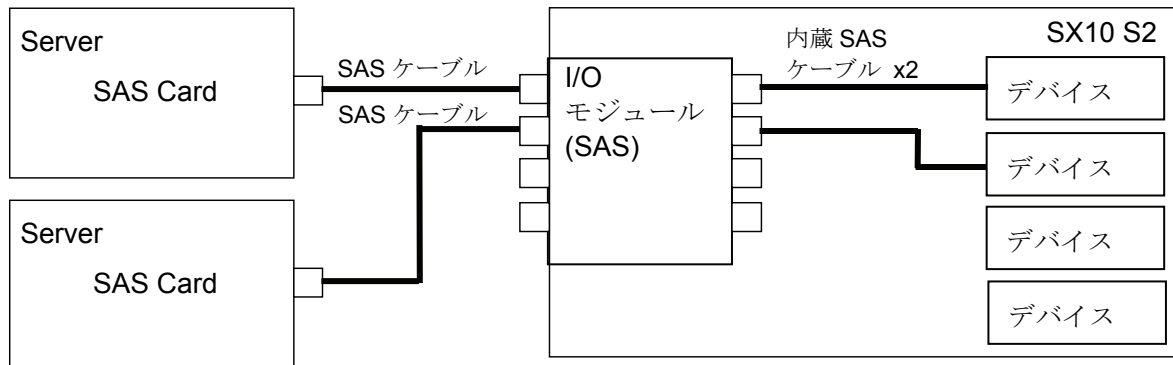
標準仕様(1 チャンネルのみ使用)

例)

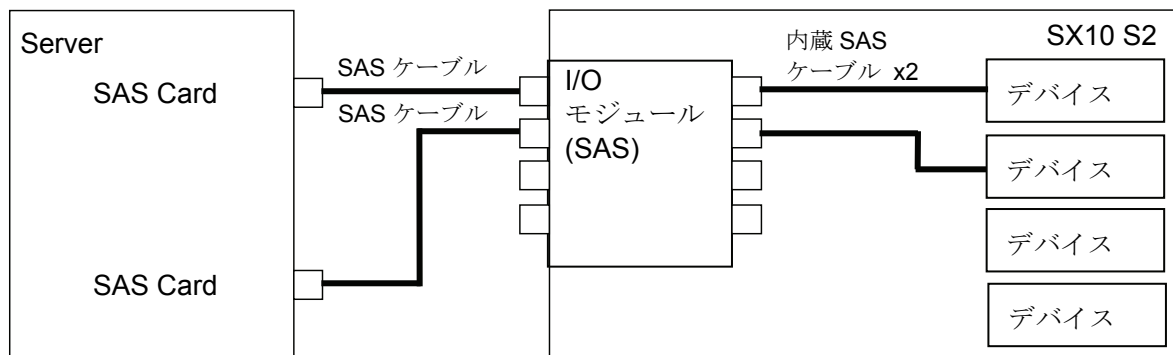


内蔵SASケーブルを 2 本増設(2 チャンネル使用)

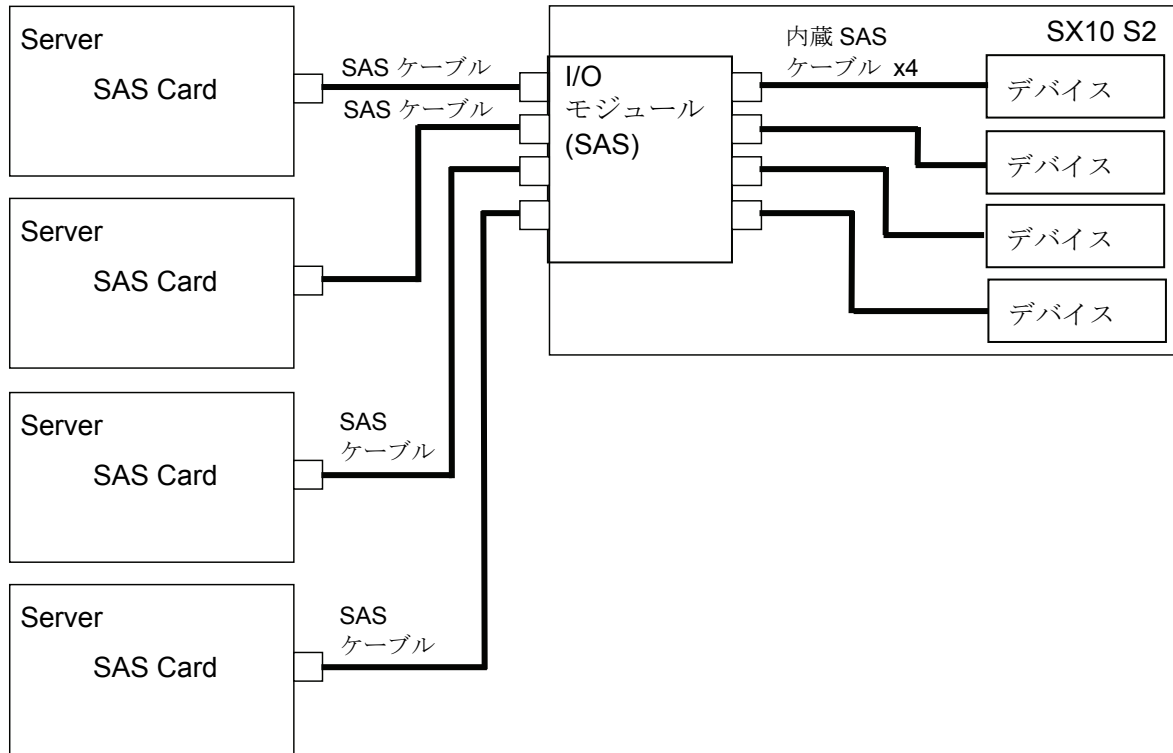
例)



※下図のように、サーバ本体に SAS カードを増設する事で、1サーバに対して複数チャンネル使用する事も可能。



内蔵SASケーブルを4本増設(4チャンネル使用)
例)



(7) 接続形態(USB)

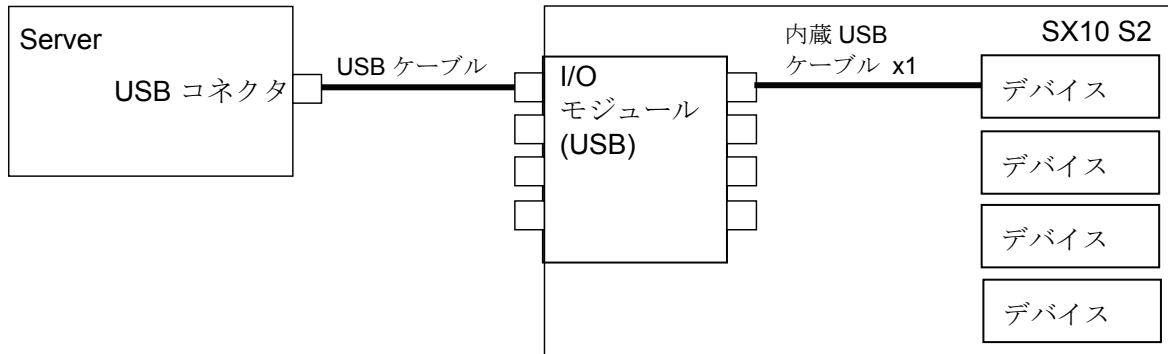
I/Oモジュール(USB)と内蔵ケーブルの増設

SX10 S2 専用 I/O モジュール(USB)と内蔵 USB ケーブル[PG-CBLU006 / PGBCBLU006]を増設する事により、本キャビネット 1 台で最大4台のサーバとの USB インターフェースによるアクセスが可能です。

注)併せて、サーバ接続用 USB ケーブル[PG-CBLU007/PG-CBLU008]が必要です。

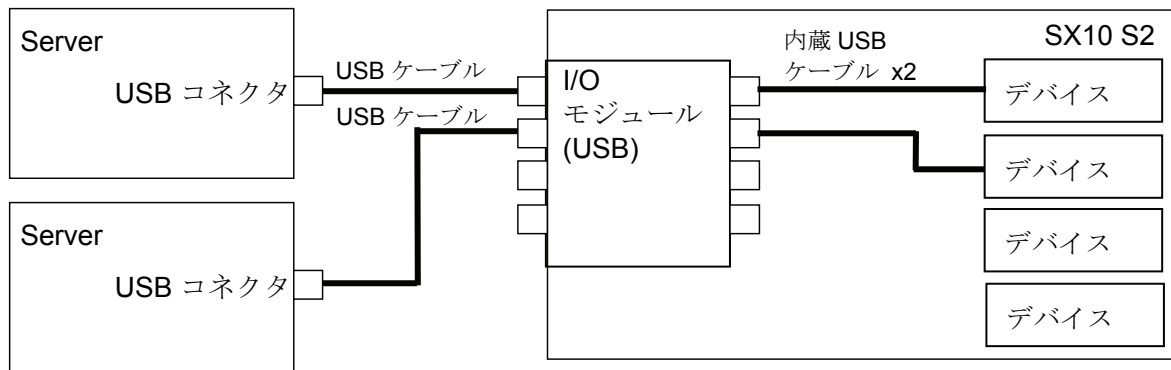
標準仕様(1チャンネルのみ使用)

例)

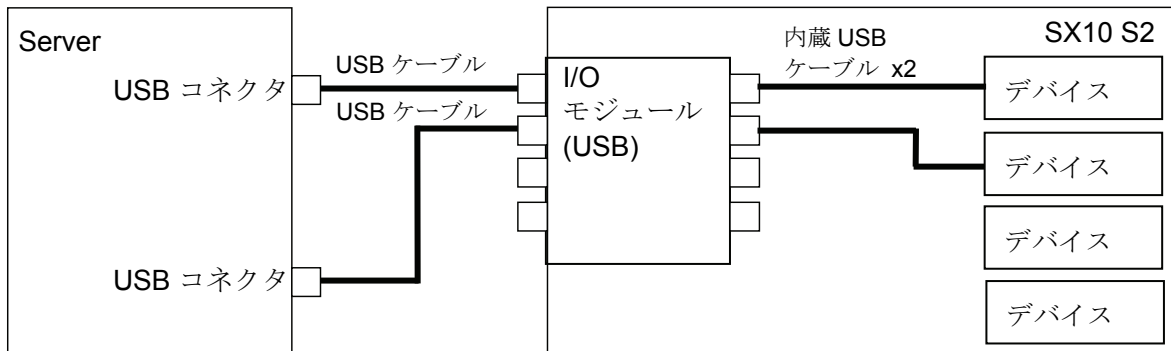


内蔵USBケーブルを2本増設(2チャンネル使用)

例)

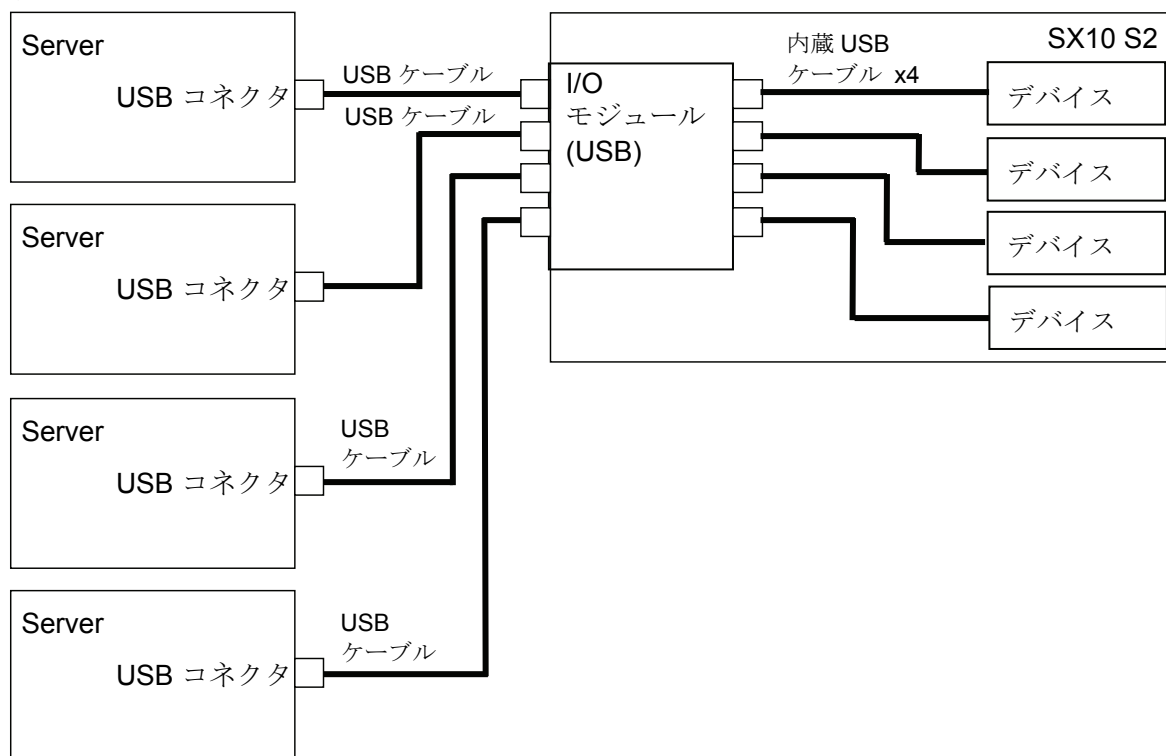


※下図のように、サーバ本体の USB コネクタを複数使用し、1サーバに対して複数チャンネルを使用する事も可能。



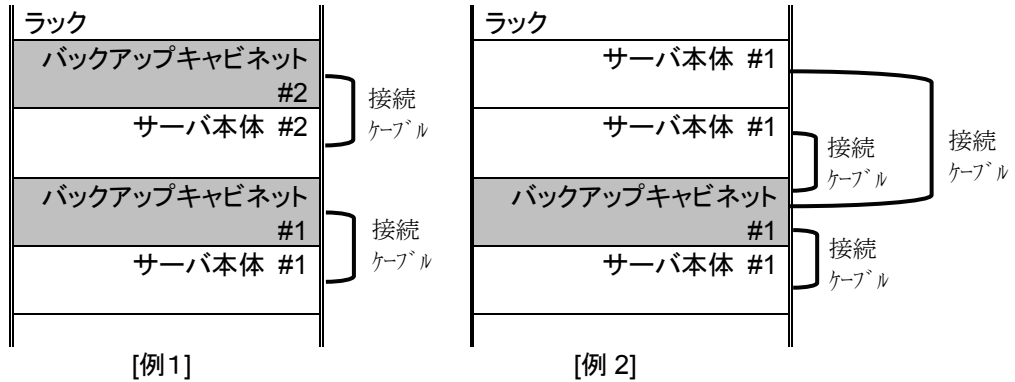
内蔵 USB ケーブルを 4 本増設(4 チャンネル使用)

例)

**(8) 留意事項**

- 電源の投入/切断については、連動モードの場合は自動的にサーバの電源投入/切断に連動します。AC 給電モードの場合には必ずサーバ電源投入前に本キャビネットの電源を投入し、サーバの電源切断後に本キャビネットの電源を切断してください。
- I/O モジュール(SCSI)で連動モードの場合は、各搭載デバイスの Termpower 供給を、必ずOFFに設定してください。
- 複数のチャンネルを同時使用している状態で電源スイッチを”R(emote)”に設定した場合、サーバ本体の電源が投入されると接続されたデバイスが電源オンとなります。使用しないデバイスを取り外したい場合は、サーバ本体の電源を切断後、“Drive Power LED”が消灯した事を確認し対象デバイス取り外してください。
- 複数のチャンネルを同時使用している状態で I/O モジュール、ファン、電源、内蔵ケーブルの交換や取り外し、または、内蔵ケーブルの増設を行う場合、本キャビネットのAC電源をオフする必要があります。この場合、本キャビネットを接続している全てのサーバを停止する必要がありますので、注意してください。システム構築時には、このような事態も鑑みて設計してください。
- 保守サポート期間は、本製品購入後から5年間となります。

F) ラックに搭載の際は、バックアップキャビネットが接続されているサーバ本体の真上に搭載してください(本キャビネットが複数台の場合も同様に搭載してください)。ただし、1 台のキャビネットを複数サーバと同時接続する場合は、接続ケーブルの届く範囲でサーバを設置ください。



G) 異なるデバイスを搭載する場合は、以下の優先順で搭載してください。

【SCSI ドライブ】

1.内蔵 LTO2 ユニット	PG-LT201	優先 高
2.内蔵 LTO ユニット	PG-LT102	↑
3.内蔵 DAT72 ユニット	PG-DT501	
4.内蔵 LTO3 ユニット	PG-LT302	優先 低

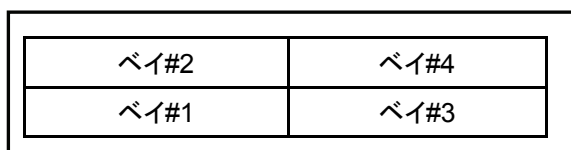
【SAS ドライブ】

1.内蔵 LTO4ユニット	PG-LT403	優先 高
2.内蔵 LTO4ユニット	PG-LT402	↑
3.内蔵 LTO4ユニット	PG-LT401	
4.内蔵 LTO3 ユニット	PG-LT303	優先 低
5.内蔵 LTO2 ユニット	PG-LT203	
6.内蔵 LTO5 ユニット	PG-LT501	

【USB ドライブ】

1.内蔵 DAT72 ユニット	PG-DT504	優先 高
2.内蔵 DAT72 ユニット	PG-DT5049	↑
3.内蔵データカートリッジ ドライブユニット	PG-RD1021	
4.内蔵データカートリッジ ドライブユニット	PG-RD1027	優先 低
5.内蔵データカートリッジ ドライブユニット	PGBRD1027B	
6.内蔵 DAT160 ユニット	PG-DT602	

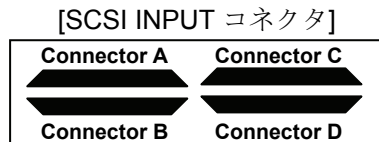
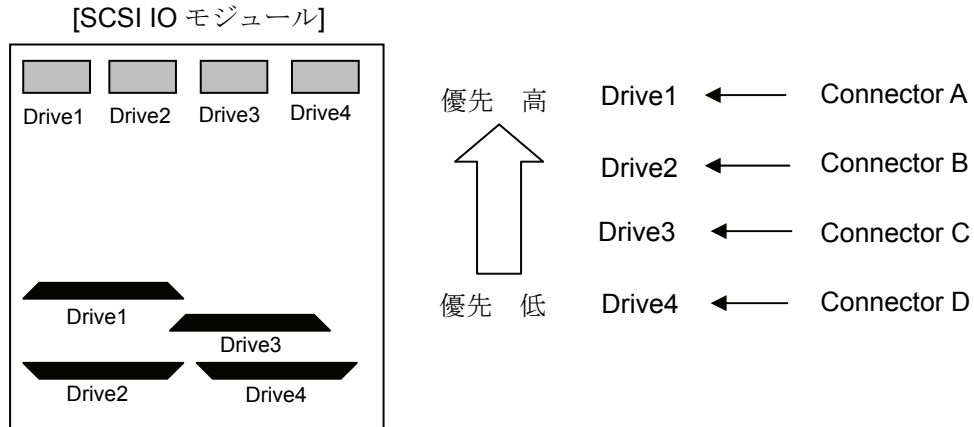
搭載する位置は、優先順の高いものから順にベイ#1→#2→#3→#4 にしてください。



H) 内蔵ケーブルを増設する場合は、以下の優先順位でケーブルを接続(増設)してください。

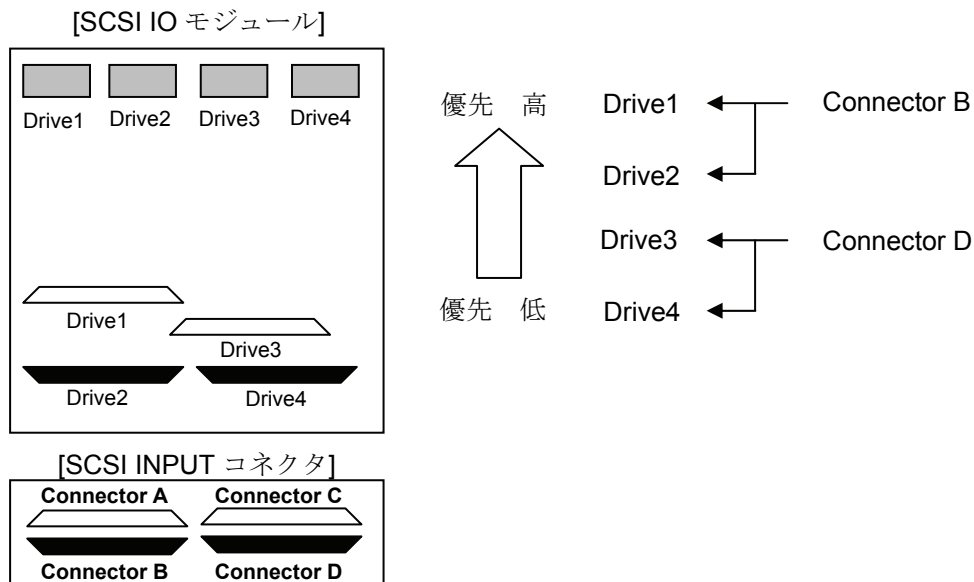
1) SCSI ケーブル[PG-CBLS032 / PGBCBLS032]の場合

Drive 1(増設 1 本目)→ 2(増設 2 本目)→ 3(増設 3 本目)→ 4(増設 4 本目)

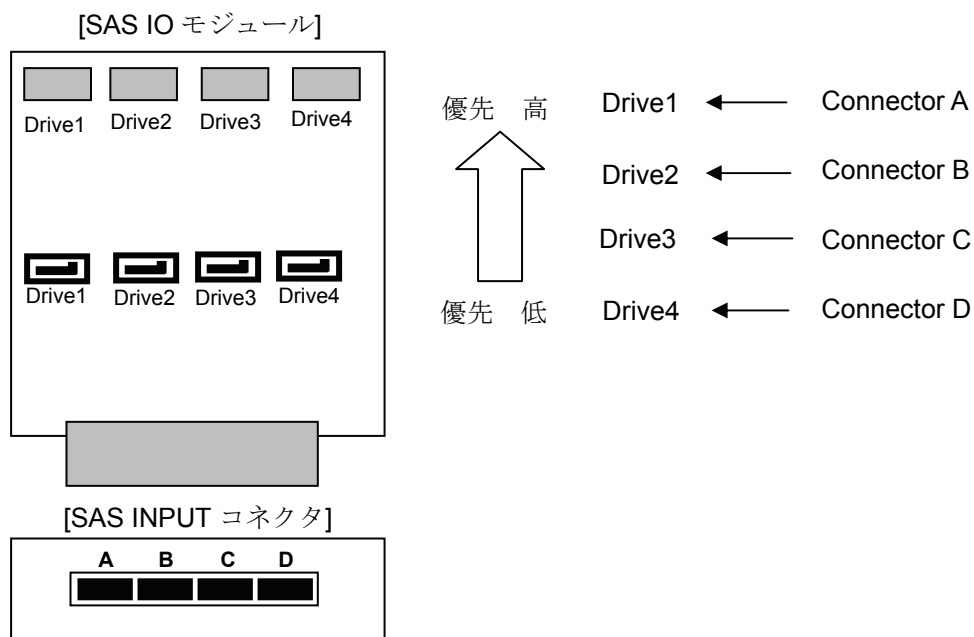


2) SCSI ケーブル[PG-CBLS033 / PGBCBLS033]の場合

Drive 1(増設 1 本目)→ 2(増設 1 本目)→ 3(増設 2 本目)→ 4(増設 2 本目)

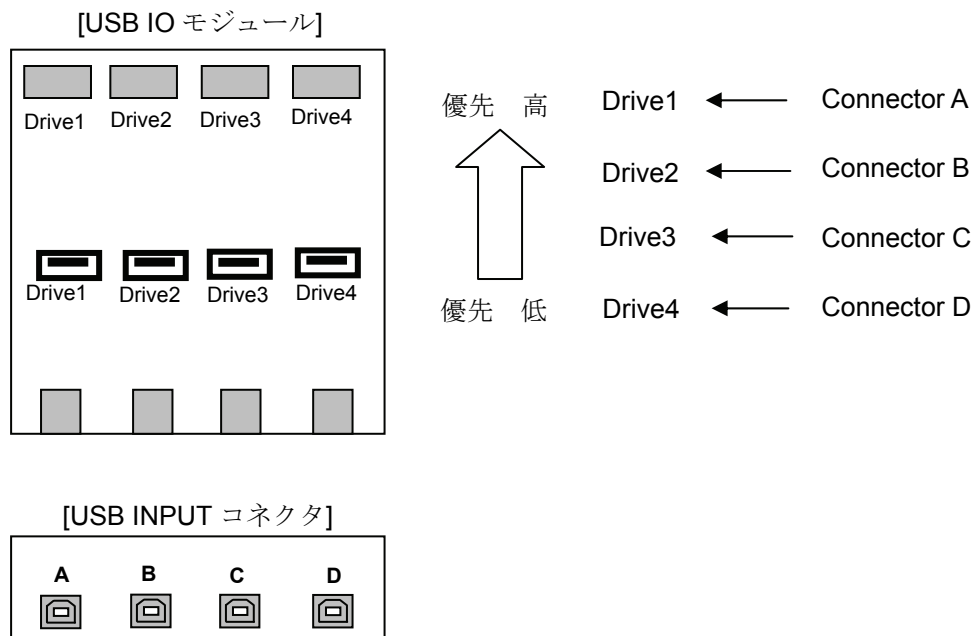


3) SAS ケーブル[PG-CBLA007 / PGBCBLA007 / PG-CBLA012 / PGBCBLA012]の場合
 Drive 1(増設 1 本目)→ 2(増設 2 本目)→ 3(増設 3 本目)→ 4(増設 4 本目)



4) USB ケーブル[PG-CBLU006 / PGBCBLA006]の場合

Drive 1(増設 1 本目)→ 2(増設 2 本目)→ 3(増設 3 本目)→ 4(増設 4 本目)



l) 各サーバとの接続方法、ならびに接続可能バックアップ装置につきましては各サーバのハンドブックをご参照ください。